

伊方3号機プルサーマル計画に係る経緯について

H16. 5.10	四国電力から県及び伊方町に対し、安全協定に基づく事前了解願ひ提出。
H16. 6. 1	伊方原子力発電所環境安全管理委員会技術専門部会を開催 (取りまとめられた意見) ・エネルギー安定供給確保及び地球環境保全のため意義がある ・基本的安全性は国、海外実績により確認済 ・個別炉としての国の安全審査結果を踏まえ改めて審議することが必要
H16. 6.30	伊方原子力発電所環境安全管理委員会を開催 (取りまとめられた意見) ・必要性、基本的安全性は認められる ・様々な指摘に対して、四国電力はもちろん国から県民に対して、科学的根拠等を明示した説明が必要 ・それらの状況も踏まえて申請可否の判断をすることが妥当 ・最終的な意見は、許可に至った場合に、安全審査や住民理解の状況を踏まえ改めて審議
H16. 7.22 ~ 7.23	県(環境局長)から四国電力、経済産業省、原子力委員会、原子力安全委員会に対し住民説明を文書要請
H16. 9. 4	四国電力が伊方町で住民説明会を開催
H16.11. 1	県、伊方町から四国電力に対し、申請了解通知文書を手交
H16.11. 1	四国電力が経済産業省へ原子炉設置変更許可申請書を提出
H16.11. 5	県から経済産業省、原子力委員会、原子力安全委員会に対し、厳正な審査、地元での説明等の要請文書手交
H17. 7.27	原子力安全・保安院の一次審査が終了し、原子力安全委員会及び原子力委員会へ諮問
H17.10.10	原子力委員会が全量サイクル路線維持の方針を堅持した原子力政策大綱を決定。(14日、基本方針として閣議決定)
H17.10.26	伊方原子力発電所環境安全管理委員会を開催 ・一次審査結果、原子力政策大綱について説明を聞く
H17.12. 4	資源エネルギー庁がエネルギー講演会を伊方町で開催
H18. 1.17	資源エネルギー庁がエネルギー講演会を松山市で開催
H18. 3. 7	原子力安全委員会原子炉安全専門審査会において、「安全性は確保される」旨の取りまとめ
H18. 3.16	原子力安全委員会の二次審査が終了、一次審査は妥当との答申
H18. 3.20	原子力委員会の二次審査が終了、一次審査は妥当との答申
H18. 3.28	経済産業省が四国電力へ原子炉設置変更許可
H18. 4.26	伊方原子力発電所環境安全管理委員会技術専門部会を開催 (取りまとめられた意見) ・更に安全審査結果の検討等を行うとともに、住民理解活動も踏まえ、審議・確認作業を進める ・疑問点等を整理し、国等に照会し、次回部会で報告 ・国へ公開討論会での分かり易い説明の実施、四国電力へ住民理解活動促進、県へ独自の公開討論会の開催検討を要請
H18. 5.12	安全審査結果等に関する県議会議員説明会開催
H18. 6. 4	国主催のプルサーマルシンポジウム開催(伊方町民会館)
H18. 7.23	県主催のプルサーマル公開討論会開催 (アイテムえひめ、伊方町民会館)

経済産業省プルサーマルシンポジウムの概要

- 1 日 時 平成 18 年 6 月 4 日 (日) 13 : 00 ~ 17 : 40
- 2 会 場 伊方町民会館
- 3 参加者 587 名
- 4 登壇者

コーディネーター	中村 浩美 (科学ジャーナリスト)
パネリスト	出光 一哉 (九州大学大学院工学研究院エネルギー量子工学部門教授) 内山 洋司 (筑波大学大学院システム情報工学研究科教授) 舘野 淳 (中央大学 商学部 教授) 豊島 耕一 (佐賀大学理工学部物理科学科教授) 山名 元 (京都大学原子炉実験所教授) 吉岡 斉 (九州大学大学院比較社会文化研究院教授)
経済産業省	野口 哲男 大臣官房参事官
原子力安全・保安院	佐藤 均 原子力発電安全審査課長 白神 孝一 原子力防災課長補佐
四国電力(株)	太田 克己 原子力本部長

5 次第

(1) 挨拶

(2) 国からの説明

「プルサーマルのエネルギー政策上の必要性について」野口参事官

「伊方発電所 3 号機の原子炉設置変更許可について」佐藤課長

(3) コーディネーター挨拶

(4) パネルディスカッション (コーディネーター、パネリスト、国、四国電力)

- ・ プルサーマルの必要性
- ・ プルサーマルの安全性
- ・ 耐震性 (佐藤課長)
- ・ 核物質防護対策 (白神補佐)

(5) 質疑応答 (会場参加者、コーディネーター、パネリスト、国、四国電力)

(6) 総括

愛媛県ブルサーマル公開討論会の概要

- 1 日 時 平成18年7月23日（日）13:00～17:50
- 2 会 場 主会場：アイテムえひめ（松山市）
副会場：伊方町民会館（伊方町）
CATV、インターネットで同時中継

3 参加者

松山会場	1 4 0 6 名
伊方会場	4 1 1 名
合計	1 8 1 7 名

4 登壇者

コーディネータ	中村浩美（科学ジャーナリスト）
パネリスト	内山洋司（筑波大学大学院システム情報工学研究科教授） 工藤和彦（九州大学大学院工学研究院エネルギー量子工学部教授） 小林圭二（元京都大学原子炉実験所講師） 舘野 淳（中央大学商学部教授） 西尾 漠（原子力資料情報室共同代表） 山名 元（京都大学原子炉実験所教授）
原子力安全委員会	森専門審査会委員 中矢管理官
経済産業省	野口大臣官房参事官
原子力安全・保安院	佐藤審議官 武藤原子力防災課長補佐
四国電力(株)	太田原子力本部長

5 次第

- (1) 主催者あいさつ（知事）
- (2) 概要説明（コーディネータ）
- (3) パネルディスカッション（コーディネータ、パネリスト、国、四国電力）
- (4) 意見交換（会場参加者、コーディネータ、パネリスト、国、四国電力）
- (5) 取りまとめ（コーディネータ）